

# なかしゅんべつ

2011  
**3**  
No.398



## 目次

役員道内視察研修……………	2	女性部のページ……………	9
みらい塾終了レポート……	3~4	営農対策情報……………	11
みらい塾研修旅行……	4~5	わが家のアイドル……………	12
中春別営農サポート協議会通常総会	6	豊原へき地保育園スケート記録会	13
2JA青年部合同懇親会……	7	ミルククッキング……………	15
良質粗飼料生産委員会講習会…	8	理事会……………	17

今月のアイドルは中春別地区の藤倉さんです。  
かわいい姉妹取材しました。

# 各関係機関と意見交換し、 酪農の現状と今後の要望を伝える



2月3日から2月5日にかけて、平成22年度役員道内視察研修が行われ、今回は札幌市にて11人参加のもと、1日目は北海道農政事務所本所会議室にて農政推進課酪農・畜産グループの方々との意見交換が行われました。

平成23年度畜産・酪農政策及び対策について、畜産・酪農戸別所得補償制度に向けての意見交換を行い、平成23年度ALIC畜産業振興事業の概要、畜産・酪農経営安定対策（戸別補償制度）について、昨年の乳価の低下、猛暑による繁殖悪化問題などがあり、今年も厳しい年になると考えているが、担い手や後継者など地域の活力を生む安定的な対策を農政事務所からも発信してほしいなどの要望し、担当官から「今後は現場の確認、現場の声を聞き入れ、現在の厳しい状況を農水省関係部署に繋げていきたい」と回答を得ました。

2日目は北海道農業協同組合中央会会議室にて、生乳需給情勢並びに今次・時期の生乳安定化対策、酪農における複数法人の実態と方向性について意見交換を行いました。今後の乳価交渉については、酪農家の経営を立て直すため1円でも2円でも高くメーカーと交渉していただきたい。また、将来希望が持てるような刺激対策も検討してもらいたいなどの要望を行いました。午後からは酪農総合研究所シンポジウムに参加し、酪農現場におけるバイオセキュリティをテーマに、家畜伝染病の現状と課題、対応とリスク低減について講義を聴きました。

2日間の日程での視察研修でしたが、各関係機関との意見交換にて、現在の酪農の現状や今後の要望等を伝える事ができ、有意義な研修となりました。



# 受講生の終了レポートを紹介します

この度、晴れて平成22年度みらい塾を終了されました受講生の終了レポートを、先月号に引き続き掲載いたします。

## みらい塾を振り返って



寺澤 佳吾

この1年間のみらい塾のなかで私が印象に残っていることは、農協の組織についての講義と牧場視察と乳房炎についての講義です。

農協の組織については、酪農をやっていくうえで深く関わっていく、もともと身近な存在であるにもかかわらず、今までは正直あまりよくわかっていなかった。そこで、みらい塾の講義で初めて知り、理解を深めることができてよかったです。

牧場視察は、普段他の農家をゆつくり見学するといふ、なかなかできない体験ができたので印象に残って

います。毎回興味深く見学して、視察先の農家の方のお話も聞けて、とても楽しかったです。また、実際に自分の目で見て、自分の家と比べてみたことで、これからの私の課題や目標を見いだすことができました。

乳房炎については、みらい塾最終日の菊地先生の講義で学習しました。乳房炎の原因は身近に潜んでいて、乳房炎改善の一番の近道は、日常の仕事をしっかりと確実にこなしていくことだと学びました。酪農家は同じ作業を毎日毎日行いますが、慣れてるからと気を抜かず、緊張感を保ちながら仕事をしなければいけないとあらためて感じました。

みらい塾全体を通して、私は酪農家として必要な知識をたくさん得ることができました。また、みらい塾の仲間と意見交換や情報交

換をして得たこともたくさんありました。みらい塾はただ講義を受けて学ぶだけではなく、ともに学んでいる仲間とのコミュニケーションのなかで、自分の活力ややる気が湧いたりすることもあるので、そこがみらい塾のいいところだと私は考え、みらい塾を受講してよかったなと思いました。

農業簿記はまだよく理解できていないところもありますが、それはこれからの課題にして、これまでのみらい塾で学び、身に付けたことは忘れずにこれからの経営に活かしていきたいです。

みらい塾の講師の方々、農協の関係者の方々、1年間多くのことを学ばせていただきありがとうございます。また、みらい塾の仲間と意見交換や情報交

## みらい塾を受講して



久保 光大

私は2期のみらい塾でたくさんのことを学ぶことができました。酪農するために必要な知識の講習がみらい塾の主な内容でした。基本的な土壌関連についてや牛の疾病、繁殖管理、餌の設計はもちろん、農協の組織構成や、営農計画書、農業簿記など時間は短かったですが、内容が充実していました。

毎回の講座を仕事の合間をぬって参加しましたが、他の受講生と顔を合わせ、話をする機会もできとてもよかったです。また昨年の口蹄疫の問題の中、中春別地区内の組合員さんには、視察で私たちを受け入れてくれ、内容もより充実したものを学ばせていただきました。本当にありがとうございます。今回の講座では農協、普

## 一年を振り返り



平井 優一

みらい塾に入る事になったきっかけは、勧誘にわざわざ家まで来ていただき、同級生も居るから入ってみたい？ という感じでした。

自分は経営的な勉強は農業特別専攻科で多少なりともしていました。ですが、先の事も考えさらに知識を蓄えようと思ひみらい塾第2期生として入講しました。最初は農協各部署の説明でした。組織概要や業務内容に限られた時間内でしたが、わかりやすく説明してもらいました。

それからは、農家視察やジェネティクス北海道等の視察がありました。

乾乳管理の仕方や草の植生調査、受精卵移植までの工程など、個人的には聞きにくいことや、行く機会がなかなかない場所に行けたのはかなり大きな収穫でした。終盤の方は共済の獣医師に乳房炎、繁殖、分娩後の疾病についての講座を受けました。

最近は何情も見つけにくくなってきているので注意して見るように！ など教えられました。また、わからない時は遠慮なく往診に来た時なんでも聞いてくださいなどのアドバイスも頂きました。

営農計画書、簿記、税金の勉強が始まりさすがに苦

戦しました。

ですが、講師に丁寧に教えてもらい、皆さんわからないで終わらせる事なくクリアできたと思います。当初は1年間ずっと堅苦しい雰囲気のまま講座が進むのかな？ と思っていました。が、回を重ねる毎に皆リラックスしながらたわいもな

い会話も出るような講習となりとても良かったと思います。

1年という限られた時間でしたが各関係機関の皆様、農協職員の皆様、視察先の農家の皆様、塾を通して学んだ事を生かしてこれからの経営に役立てていきます。わからない事があつたら

皆様方にまた話を伺うこともあるかとは思いますが、その時は宜しくお願いいたします。

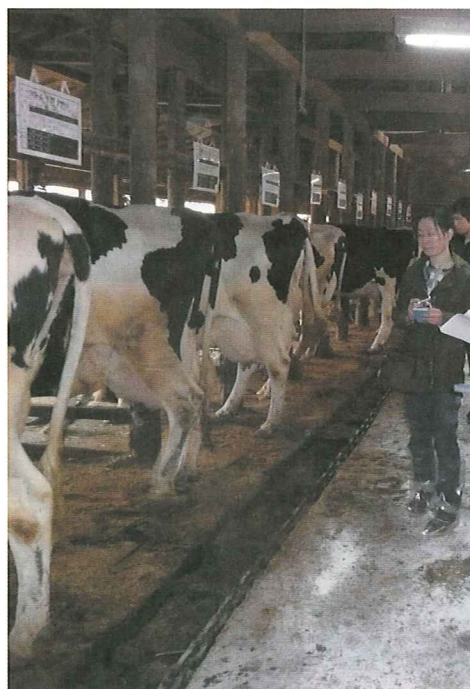
1年間ありがとうございました。

# 各農場の視察と施設を見学し、 知識と情報を今後の仕事にいか していききたい 研修旅行を終えて——平井 優一

2月7日～10日にかけて、みらい塾視察研修として、神奈川県横浜市の農場に第2期生の受講生5人と農協引率1人で視察に行きました。なお、受講生メンバーの1人、齋藤達也君が残念ながら都合上、視察研修に参加出来ませんでした。

初日、釧路空港から羽田空港へと向かいました。1日目は移動のみで直接、ホテルへ到着。夕食までのわずかな時間に各々自由行動。その後、夕食を食べ明日の研修に備え早々にホテルに戻り移動の疲れを癒しました。

2日目は朝9時30分に今回、案内していただいた全農かながわの畜産部畜産相談課の安藤さん、塚田さんがホテルまで車で迎えに来てくださり、神奈川県横浜市の菌(その)克博農場と森義則農場、神奈川県農業技術センター畜産技術所に行きました。





は北海道に8割ほど預託しているそうです。  
牛床の敷料には県内のコーヒー工場から出る産業廃棄物のコーヒー豆の皮を無償で譲りうけているものを使い、牛床内はコーヒーのいい香りがしていました。  
また糞の処理は、分離し尿は下水へ、堆肥は完熟にして販売していました。尿は市の条例で下水に流しても

は10産以上の牛が居たと言っていました。昔は10産以上の牛が居たと言っていました。今は居ないらしく、3回以上種付けを行い受胎しなかった場合、受精卵移植に切り替えることになりました。替えることで受胎率が60%くらいと聞きました。飼料も4回に分けて給餌していました。  
牛床には菌さんと同じくコーヒーの皮

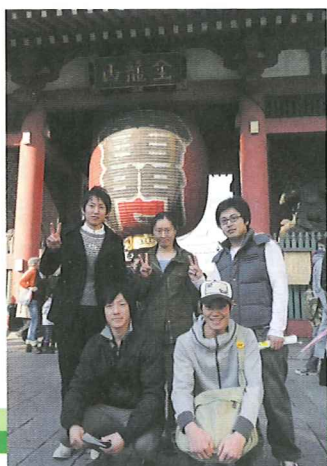
良いとの事でしたが説明を聞いたときはとても驚きました。  
通年牛舎内で飼育している為、削蹄は約7カ月に1回のペースで行っているとの事でした。  
2件目は森農場へ行ききました。森さんは経産牛38頭、年間乳量300〜320t、本人、妻の2人で経営していました。昔

を敷き、堆肥も近くの人のあげているそうです。  
3件目は海老名市の神奈川県農業技術センターの平井さんに案内してもらいました。衛生上、防疫服を着て施設内を見ました。  
搾乳施設、肉牛、デントコーンの貯蔵施設、堆肥舎、尿の曝気槽などを見せてもらいました。施設内の家畜には、給食の残さ物を飼料として給与していると聞きました。  
また、呼び名は違いますがアニマルウェルフェア（カウコンフォート）にも力を入れていると説明を受けました。  
繁殖障害の牛から後継牛生産すると言うことをやっており、廃用になった牛から経産採卵を行い培養方法や凍結方法を改良し、移植すると高い受胎率を得られると話していただきました。  
その日の研修を終え横浜市内に戻り、ランドマークタワーから夜景を見物し、中華街へ行き四川料理を食べ横浜を満喫させてもらいました。  
3日目は観光の日程で出

を敷き、堆肥も近くの人のあげているそうです。  
3件目は海老名市の神奈川県農業技術センターの平井さんに案内してもらいました。衛生上、防疫服を着て施設内を見ました。  
搾乳施設、肉牛、デントコーンの貯蔵施設、堆肥舎、尿の曝気槽などを見せてもらいました。施設内の家畜には、給食の残さ物を飼料として給与していると聞きました。  
また、呼び名は違いますがアニマルウェルフェア（カウコンフォート）にも力を入れていると説明を受けました。  
繁殖障害の牛から後継牛生産すると言うことをやっており、廃用になった牛から経産採卵を行い培養方法や凍結方法を改良し、移植すると高い受胎率を得られると話していただきました。  
その日の研修を終え横浜市内に戻り、ランドマークタワーから夜景を見物し、中華街へ行き四川料理を食べ横浜を満喫させてもらいました。  
3日目は観光の日程で出



発する時は、あいにくみぞれ混じりの天気でしたが昼くらいから好天にも恵まれ観光日和となりました。  
国会議事堂、築地場外市場、浅草、東京タワー、建設中で話題の東京スカイツリーを見物しお土産等を買いながらそれぞれ東京観光を満喫しました。  
今回、視察させていただきました。菌さん、森さん、技術センターの平井さん、今回の研修旅行に多忙にも関わらず全面的に協力していただいた全農かながわの安



藤さん、塚田さん今回は本当にありがとうございました。農協の協力もあり、今回の研修で大変良い経験をさせていただき、これからの日々の仕事の糧とさせていただきます。

去る2月7日(月)に団地センタートレーニング室にて中春別営農サポート協議会(馬場文夫会長)の第9回通常総会が開催されました。

開会にあたり、馬場会長より挨拶があり、続いて来賓から中春別農業協同組合代表理事組合長・小湊保氏より挨拶をいただきました。



議長には中春別地区から小原義男氏が指名され、議事にはいりました。

議案第1号「平成22年度事業報告及び収支決算について」議案第2号「平成23年度事業計画(案)及び収支決算について」議案第3号「賦課金の賦課及び徴収方法について」以上、3議案

## 協議会に期待する 活発な意見が交わされました

### 中春別営農サポート協議会第9回通常総会



第9回中春別営農サポート協議会通常総会



が提出され、全議案可決承認されました。議場からは活発な意見が出され、今後の中春別営農サポート協議会に期待する声が寄せられました。

また、南澤副会長より「労働力の補完のためにこれ

からも会員の皆様のためいろいろなとを考えてまいりますので、会員の皆様も何か良い案などがあれば役員にお声をかけてください。今後とも役員共々努力してまいりたいと思っておりますので、会員の皆様

のご協力とご理解をお願いします」と閉会の挨拶が述べられ、中春別営農サポート協議会第9回通常総会が終了いたしました。今後とも会員の皆様の良い生活を目指し、安定した労働力の確保、地域に根ざした利用のしやすい組織づくりをしていかなければならないと再確認いたしました。

#### 防犯訓練

### 防犯対策をいつも意識し、冷静に対応することが大事

去る2月4日(金)金融窓口にて、強盗対応訓練が行われました。中標津警察署の協力で強盗の犯人に扮した警官が金融窓口で「金を出せ!」と要求。犯人には「落ち着いてください」となだめ、お金を小出しに渡し、被害を少なくし警察が到着するまでの時間を稼ぐ対応をしました。また、逃走する犯人の車にカラーボールを投げつけたり、他の職員は犯人の人相や服装をメモを取る訓練をしました。署員から、「身の安全を第一に考え対応する事、平日頃から防犯対策を意識し、対応することが大切である」と教えられました。



## 道東あさひ青年部との 交流を深めた懇親会!!

去る、1月29日(土)に居酒屋「藤」にて、2JA(道東あさひ、中春別)青年部合同懇親会を開催致しました。  
毎年ライダー作戦の打ち上げも兼ねて行っていた懇親会でしたが、今年は口蹄疫によりライダー作戦が中止になり、懇親会も中止に

するかどうか悩んでいました。が、両青年部長の話し合いにより今年も10数人参加のなか開催する事ができました。  
開催にあたり道東あさひ青年部・西田尚部長より「今年は口蹄疫によりライダー作戦を始めとす



る各行事が中止せざるをえない状況であった。だが来年度はまた合同で取り進め

て行きたい」との言葉をいただき、当青年部・金子琢哉副部長の「乾杯!!」の合図で懇親会は開催されました。

しゃぶしゃぶにお刺身等豪華な食事に箸もすずみ、お酒を酌み交わしながら話が盛り上がっていました。話題にはTPP参加反対や、酪農情勢など熱のこもった話になり、お互いに意見交換をしていました。

最後に当青年部・石森裕治部長より、「今後の皆様の



ご健康と更なるご活躍を期待します」と一本締めで懇親会の幕は閉じました。

## 『みんなから教えられたこと』

別海町4日クラブ連絡協議会(長沼徹会長)では、平成23年1月27日(木)〜28日(金)に札幌市の北海道大学学術交流会館にて開催されました、北海道青年農業者会議に参加してきました。当地区より長沼徹会長、北海道4日クラブ連絡協議会・平井優一役員が参加して参りました。



今回の会議は、各管内の4日クラブ及び酪農、農業の青年団体、各関係者の方々を含め約300人が出席するなか開催されました。根室管内からは各単協ク

ラブが1年間の活動の成果を発表する「プロジェクト発表」に標津より1課題、さまざまな経験を通して得た酪農に対する想いを発表する「アグリメッセージ」に別海より1課題出場しました。  
私たちが出場した「アグリメッセージ」では、「みんなから教えられたこと」と題しまして、口蹄疫関係により各イベントを自粛していたなかで別海町4日クラブの面々が子供達に酪農体験や酪農のすばらしさを伝えるために奮闘してきたその

中で気づいた仲間の大切さ、組織のトップに立つ責任感など、自分がクラブ活動で経験、成長してきた事を発表してきました。

残念ながら入賞する事は出来ませんでした。今回の会議で他の方々の考え方や捉え方を聞き、また1日目の夜に行われた懇親会で普段会う機会がない方との交流を深められた事でたくさん経験を得る事ができました。この経験を今後のクラブ活動に生かし、若い世代のエネルギーを一杯



ぶつけていき、より活発に活動していきたいと思います。

## 『簡易更新の工夫とコスト』

去る2月24日(休)団地センター  
12階トレーニング室にて、『簡  
易更新の工法とコストについて』  
と題しまして、根室農業改良

普及センターの沖田和樹主査、  
同・坂口哲也普及員を講師に  
招き35人の参加者のもと講習  
会を開きました。



開催にあたり、西川  
寛稔委員長より「良い  
草作りにはまず良い土  
作りを行う事が大切で  
ある。しかし、近年の  
草地更新率は6%から  
4%に減少しているた  
めこのような講習会を  
開きました」とご挨拶  
をいただき開催されま  
した。

草地更新を行うにあ  
たり、完全更新法と簡  
易更新法である表層攪  
拌法や、作溝法を行っ  
た際のコストの違いや  
石灰資材であるライム  
ケーキと炭カルの主な  
違いや、コストの違い  
について詳しく説明し  
ていただきました。ま  
た、草地更新工法別の  
植生、収量及び理化学  
性に関する研究の結果



報告とし、発芽個体数、雑草  
の割合や硬度の違い、チモン  
の成長の様子などの説明を  
していただきました。講義終  
了後には普段疑問に感じてい  
る事などを質問し、有意義な  
講習会となりました。

今後も良質粗飼料生産委員  
会では皆様のご意見等を参考  
に講習会を行ってまいりますの  
で、何かありましたら宜しく  
お願いいたします。

### 【農業特別専攻科からのお知らせ】



北海道別海高等学校農業特別専攻科



専攻科は平成24年で40周年を迎え  
ます。

専攻科同窓会および後援会では、準  
備を来年度から本格的に行いたいと  
計画しております。現段階では、平成23  
年5月に協賛会設立総会を予定してい  
ますので、専攻科OB・OGの方々に是非、  
協力していただきたいと考えております。

また、総会の詳細につきましては、OB・  
OGの方々に改めてご連絡させていた  
だきます。

【担当者：加瀬利憲】



# 仲間と楽しい一時を過ごしました

去る2月4日(金)女性部では、日帰り温泉親睦会を開催いたしました。参加者20人に乗せバスが農協を出発し、向かった先は養老牛湯宿だいち。次々と出てくる豪華な会食をいただき、大人数集まった部員同士、会話が弾みます。当日の朝にいただいたばかりのお餅も「お土産にどうぞ!」といただき、デザートも食べお腹い

っぱいになったところで温泉に入る部員やお土産を買いに行く人、ロビーでは囲炉裏を囲みながらコーヒードリンクを飲みながらお喋りを楽しんでました。帰り、と過ごされました。帰りのバスの中も話が尽きず、最後まで仲間との楽しい時間をすごした親睦会でした。

## 女性部親睦会



女性部(崑山友子部長)では、

2月15日(火)団地センターロビーニング室にて懇談会を開催いたしました。

懇談会では、女性部員19人が参加しました。内容は平成22年度収支見通し、活動報告の他に部会グループの活動費、グループ活動、役員手当、日当について話し合われました。平成23年度の活動計画では日帰り視察研修の行き先を話し合い活発なご意見をいただきました。

懇談が終わった後は、昼食とコーヒーや紅茶、お菓子を囲みながら部員同士お

話をしたり、別のテーブルでは押し花シール作りをして、今年度最後の活動終了しました。23年度もみなさんの声で女性部活動を充実させたいですね。参加されたみなさんお疲れさまでした。

## 女性部懇談会

女性部活動を皆さんの声で充実させていきましょ





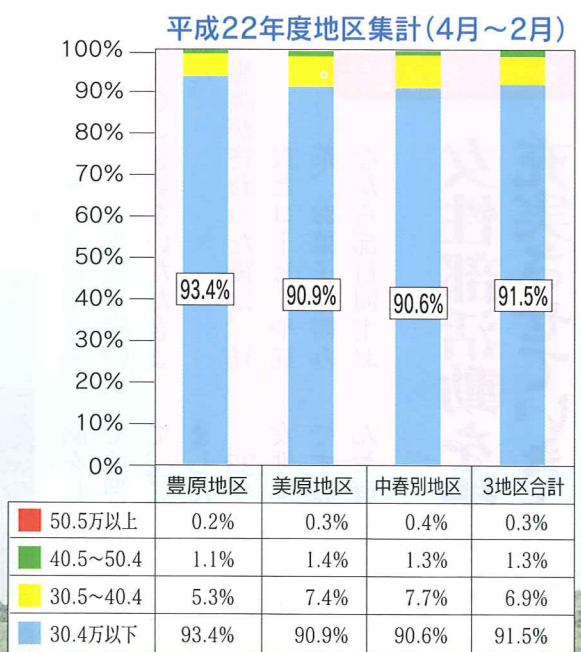
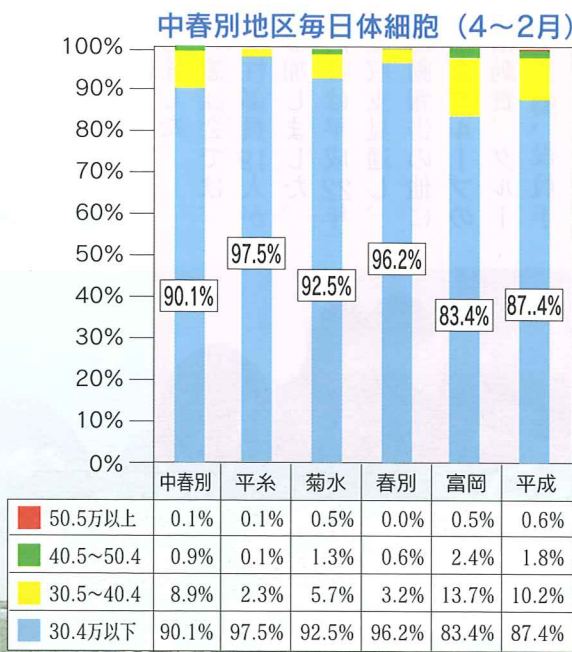
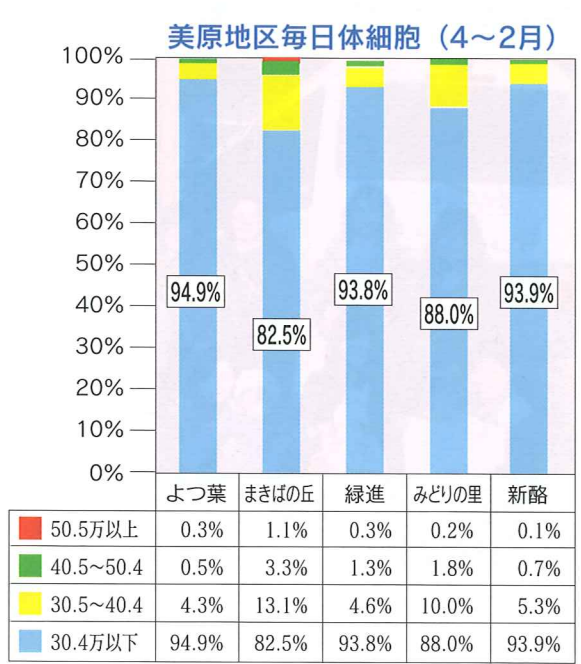
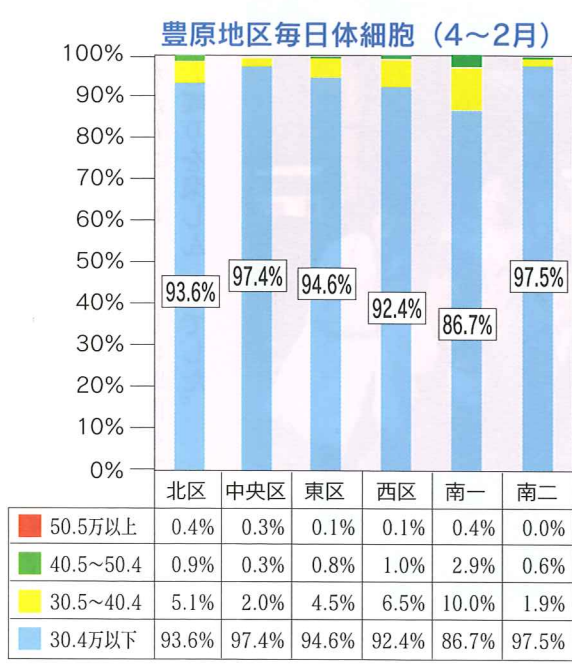
# 生乳課情報

平成23年2月28日現在

生乳汚染事故を無くそう！

- 抗生物質混入事故……JA中春別発生件数 3件 管内では 15件の発生です。
- 生菌による汚染事故…JA中春別発生件数 0件 管内では 0件の発生です。
- 異物混入、異臭、加水による汚染事故…JA中春別発生件数 0件 管内では異常風味で 1件の発生です。

きれいな生乳出荷のためにも、洗浄湯温や適正な洗剤の量などの定期的なメンテナンスの実施をお願い致します。



# 営農対策情報

根室農業改良普及センター

## 蹄は健康のバロメーター



写真1 アシドーシスを引き起こし、蹄冠部が腫れ発赤している

などの症状を示し、思うようにエサを食べられなくなり、食べに行くことも諦めてしまいます。

- 蹄に異常があった場合**
- 蹄の周辺が腫れる（写真1）
  - 足を引きずる、背を丸めて歩く
  - 蹄が痛くてつけない、立てない

暖かい日が続き、足もとが軽くなる季節、牛の蹄の具合はいかがですか？蹄は牛の健康状態を表しています。蹄の観察を普段の飼養管理と合わせて行いましょう。

- 【対策】**
- 粗飼料を十分に与える
  - 固め食いをさせない
  - タイミング良くエサ押しをする
  - 粗飼料をたくさん食べられるよう、新鮮な水を飲めるようにする（水槽やウォーターカップの掃除も大切です）
- 粗飼料を十分に食べてい

原因としては

- ▽粗飼料不足や繊維不足（給与量が少ない。サイレージの品質が良くない）
- ▽圧ペンコーンなどのエネルギー飼料もしくは濃厚飼料の多給が上げられ、ルーメンアシドーシスを引き起こし、蹄病につながります。

① **栄養**

そうなると乳量が低下し、生産性が上がりません。これらの要因は①栄養②環境ストレスと言われ、複合的に絡んで発症する場合があります。

原因としては

- ▽横臥、休息が十分に取れない
- ▽通路が滑る、平らでない
- ▽蹄が常に糞で汚れている
- ▽蹄が常に湿潤状態にある
- ▽蹄が常にストレスから蹄に負担がかかり、外傷性の損傷が起きたり、急速に軟化し弱くなります。

また、蹄病の感染拡大の危険性が高くなりますので

### ② 環境ストレス



写真2 十分に食べている状態（左腹が張り出している）

- 原因としては
- 粗飼料設計を見直し、栄養バランスを確認する
  - サイレージを定期的に分析する
- ことが大切です。

るのに（写真2）蹄に異常がある場合は、

蹄の健康に保ち、我が家の生産性を高めていきましょう。



写真3 パーラー内で蹄を洗浄

- 【対策】**
- 敷量を増やす
  - こまめに牛床の除糞作業を行う
  - 牛床をキレイにし乾燥させる
  - パーラー内で蹄を洗浄・消毒する（写真3）
  - 蹄浴を行う
  - パドックなど泥濘化する場所を整備する

注意が必要です。  
※PDDなど伝染力の強い趾皮膚炎を助長します。

# わが家のアイドル



お父さんとスノーモービルに乗るのが好きな梨緒ちゃん  
 食べるのが大好きで、人懐っこい莓香ちゃん

中春別地区 父・藤倉香津靖さん(26歳) 母・亜里沙さん(24歳)

長女 <sup>りお</sup> 梨緒ちゃん(3歳) 次女 <sup>まいか</sup> 莓香ちゃん(1歳)

今月のアイドルは中春別地区の藤倉さん宅を訪問しました。

当日は天気の良い日。まず最初にお父さん香津靖さんの趣味、スノーモービルにまたがり集合写真をパシャリ。聞くと梨緒ちゃんはお父さんとスノーモービルに

乗せてもらうのが好きだと言います。仕事の時間はお父さん、お母さんの後をついて牛舎に行き牛に餌をあげたり、自分から進んでお手伝いを頑張って

います。

妹の莓香ちゃんは食べるのが好きで、人懐っこい女の子。当日も初対面の私に「ハイ！」といういろいろなものを渡してくれます。にこにこみんなに笑顔を振りまくのが上手でお母さんに似た可愛い女の子です。普段は梨緒ちゃんと莓香ちゃん2人でひいおじいさんの弘さん、ひいおばあちゃんの静枝さんと一緒に遊んで過ごし、最近はお姉ちゃんの梨緒ちゃんがお姉ちゃんの似顔絵を描いて、家族を喜ばせてくれています。今年の春からは保育園に入園の梨緒ちゃんですが、たまに甘えんぼなので喜んで保育園に行ってくれるかがお母さんの心配だと言います。そんなお母さん亜里沙さんの出身は走古丹で、漁師



を行っていたるお家。高校を卒業後農協に就職し、最初に行った農家実習先が藤倉さんのお宅だったのが旦那さん

と出会ったきっかけです。年に2回家族で旅行に行き、去年は旭山動物園に旅行に行つてきました。仲の良い斎藤さん夫婦とも旅行に行つたりなど賑やかに過ごされ、家ではおじいちゃん、お父さん、おばあちゃん、お母さん、ひいおじいさん、ひいおばあさんが一緒に住む家で家族仲良く過ごされています。

梨緒ちゃんと、莓香ちゃんの名前はお父さん、お母さんで決め、梨緒ちゃんはおばあちゃん律子さんの頭文字「り」と、おじいちゃん紀夫さんから「お」をもらいました。女の子なのでかわい名前にしようと、莓香ちゃんも果物の字で共通させ、果物の「莓」という字と香津靖さんからもらった「香」で「莓香」と名前をつけました。

当日は雛まつり前で雛人形が家に飾られており、梨緒ちゃんと莓香ちゃんがみんなに愛され、家族みんな楽しそうに過ごされています。様子を取材することができました。

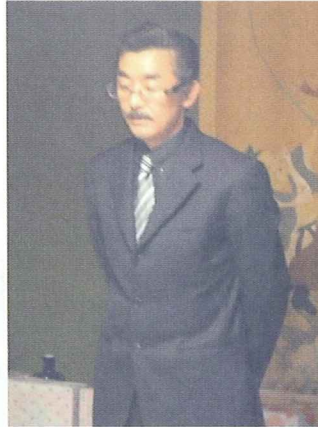
藤倉家の皆さん、ご協力ありがとうございました。

## ■乳牛改良同志会 第23回定期総会

# 同志会が一丸となつて 事業運営に更なる努力を

乳牛改良同志会（山田博和会長）では、2月15日、白樺食堂において第23回定期総会が31人の参加で開催されました。

総会に先立ち平成22年度新規EX獲得並びに特別賞表彰式が行われ菅原美香さん、山田光男さん、山田博和さん、橋本幸二さん



ん所有の新牛EX牛6頭が表彰され、特別賞として、自家産3姉妹EX牛を達成した山田光男さん、自家産4代エクセレントを達成した橋本幸二さんにそれぞれ記念品の贈呈が行われました。

総会開会にあたり山田博和会長より、1年を振り返つての開会の挨拶が述べられ、引き続き総会を祝し農協を代表して兼松副組合長と、来賓を代表して、オール



ジャパンブリーダーズサービスク株式会社営業部課長の竹田秀臣様より、酪農諸情勢の現況を交

び関係機関の方々との親睦が続きました。

えた種雄牛の説明なども含めての祝辞をいただきました。議事に先立ち、議長には美原地区の山田晃嗣会員が選出され、議案第1号から議案第4号まで審議され、すべて、可決承認されました。本年の総会では、規約の改正も行われ、事業年度の変更（1月1日より12月31日まで）、総会招集時期の変更と改正をする方向に決定しました。

昨年度の各事業においては、当同志会事業はもちろん、町協議会、管内協議会への事業などにも積極的に参加し、活動や成果については充実されたものがあつたと思われませんが、今年度の各事業の運営に更なる参加者を見込む為にも、当同志会が一丸となつて努力して行く事と思われま

す。総会終了後、懇親会が行われ、会員及



## TPP交渉参加には断固反対だ!



- 例外なき関税撤廃を原則とするTPP交渉への参加反対
- 政府は、これまで同様すべての貿易交渉にあたり、例外措置として重要品目の関税を維持すべき
- 地域社会のあり方や「この国のかたち」について十分に時間をかけ議論を深め、国民の合意形成を図るべき

豊原へき地保育園では保育参観の一環として、スケート記録会が2月8日(火)に開催されました。

当日、天候は良く、スケートリンクの状態もベストコンディションに整えられ、スケート記録会を迎えました。リンクに出て行き、それぞれウォーミング

# 氷上で滑って、親子で楽しく転んで笑顔一杯、元気にスケートに挑戦!

グループ。保育園でのスケートは去年から行われ、うまく滑れる子、すぐに尻もちをつけてしまう子、ビール箱につかまりながら滑る子とそれぞれでした。先生のルール説明に「は〜い!」と元気よく返事する園児たち。そんな園児のお父さんお母さんが見守る中、リレーが始まりました。リンクの上に一直線におかれたコーンをジグザグに滑って行き次の人へバトンタッチ。なかなか滑れない子には「がんばれ!がんばれ!」と園児からの応援が沸き起こり、無事に全員が滑り終えていました。



# MILK COOKING PART ⑥



## ミルクライス

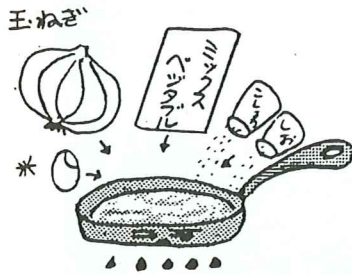


米 ----- 3カップ  
 水 ----- 2カップ  
 牛乳 ----- 1½カップ  
 塩 ----- 小さじ1  
 こしょう ----- 少々

ミックスベジタブル(冷凍野菜)  
 { 人参  
 コーン ----- 1袋  
 グリンピース  
 玉ねぎ ----- ½個  
 バター ----- 大さじ2

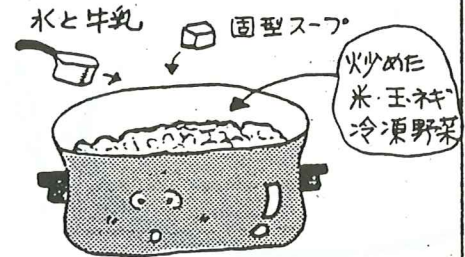
**1**

鍋にバターを熱し、玉ねぎ、米、冷凍野菜を炒める。塩、こしょうで調味する。



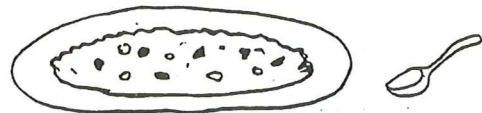
**2**

温めた水と牛乳を入れて炊き込む。



**3**

炊き上がったら、皿に盛りつける。



炊き込みご飯の配合 (2人分) \*\*\*\*\*

米	水	塩	酒	しょうゆ	具	ひとこと
1 カップ	1 カップ	小さじ 1/2	大さじ 1	小さじ 1	50g	具はグリーンピースご飯 でグリーンピースが約50g いちばん多いがやく ご飯は全部で370g になります。
1/2 カップ	1/2 カップ				370g	

ご飯が炊けるころ、具もふっくらと煮えています。ご飯と具をよく混ぜ合わせてからいただきます。

# 自分は大丈夫!?

振り込め詐欺にあわないために



おふくろ?  
携帯電話の番号が  
変わったよ

カードを  
預ります

電話番号が  
変わった  
という電話は

**要注意**

お金を借りるのに  
先に  
保証金を払えは

**詐欺**

カードを  
預かります  
という電話は

**詐欺**

はっきりしない  
請求は  
無視してまず

**相談**

お金を返すから  
ATMに行けは

**詐欺**



**議案**

1. JAフルスペックローン貸出業務事務手続きの一部変更について
2. 平成23営農年度クミカン暫定取引について
3. クミカン取引名義の変更について
4. 平成23営農年度財産造成に伴う資金の貸付について
5. 平成23営農年度機械利用組合に係る財産造成に伴う資金の貸付について
6. 平成22年度酪農ヘルパー円滑化対策事業基金の取崩額について
7. 平成23年度理事報酬の諮問(案)について  
以上原案どおり承認

**報告事項**

1. 平成22年度12月末定期監査の講評について
2. (社)北海道農業経営審査協会による内部審査報告について
3. 平成22年度1月末決算見通しについて
4. 固定資産の取得について
5. JA財務モニタリング実施要領に基づくアウトライヤー基準該当に関する報告について
6. 年度末貯金推進の実施について
7. 平成23営農年度1月末営農生産関連実績について
8. 平成23営農年度信用限度について



**1月 乳質乳価一覧表**

(単位:円/kg)

		単価	算出基礎	支払乳価	前年同期	差	
乳脂肪分		733.650		29.71	30.50	-0.79	
無脂乳固形分		462.129		40.64	41.41	-0.77	
補給金		4.9123		4.91	5.06	-0.15	
計画チーズ奨励金							
乳質単価	生菌数	ランク1	2	311,136,435.3kg	3.74	3.74	-0.00
		ランク2	0	5,711,188.7kg			
		ランク3	-3	197,605.2kg			
	体細胞数	ランク1	2	275,398,828.1kg			
		ランク2	1	22,341,493.2kg			
		ランク3	-2	3,903,602.9kg			
合計				79.00	80.71	-1.71	

**1月分乳代支払単価**

項目	単価(円)/(kg) %	
乳脂肪分①	29円71銭	
無脂乳固形分②	40円64銭	
補給金③	4円91銭	
チーズ奨励金④		
脂肪率	全道	4.05%
	農協	4.13%
無脂固形分率	全道	8.79%
	農協	8.78%
成分乳価	全道	75円26銭
①+②+③+④=⑤	農協	75円77銭
乳質乳価⑥	全道	3円74銭
	農協	3円78銭
乳代合計	全道	79円00銭
	農協	79円55銭
⑤+⑥	差異	55銭



びっしりと沿岸にたどりついた流氷（遠く国後島を望む）

流氷は海水がマイナス2度まで冷えると凍りつき、塊になり南下してきます。ただロシアのアムール川河口付近では、川の水が海へ流入し、海水の塩分濃度が低くなっているため高温でも凍りつくようです。アムール川河口付近で凍りついた塊が季節風と海流に運ばれて、オホーツク海まで流れてきます。今年は根室の沿岸や3月初旬には浜中まで流氷が運ばれていってます。

地球温暖化のために流氷も随分と小さくなってしまいました。40年以上前には2階建ての家くらいの氷の塊がたくさん運ばれてきて、氷と氷がこすれあう音が聴こえたりと勇壮だったのですが、写真をご覧になっても分かるように塊もこじんまりとしたものになりました。

（2月14日：野付半島ネイチャセンター前より撮影）

編集後記

▼日ごとに春めいてまいりました。日中はすっかり暖かくなり、春の遅い道東地方にも今年は少し早めに春がやってくるようです。

▼3月3日はひな祭り。雛飾りが今のようになったのは江戸時代からで、五段飾り、七段飾りとしたいに豪華になりました。女の子の無事な成長を感謝し、幸せを祈る行事の精神こそ大事にしたいものです。雛まつりが終わっても雛飾りを飾っておくとお嫁にいくのが遅くなると言われていますが片付けは済んだでしょうか？

▼今月号では豊原へき地保育園のスケート大会を掲載いたしました。スケートは去年から行われていますが、お父さんたちが協力して作ったリンクを園児達は楽しそうに滑っていました。

